

今、
変える、

関西

Ministry of Economy,
Trade and Industry

RECRUITING 2025

近畿経済産業局採用案内



経済産業省
近畿経済産業局

CONTENTS

01 | Organization

- ・近畿経済産業局のミッション・バリュー
- ・産業保安監督部のミッション
- ・組織図

02 | About Us

- ・各部紹介
- ・職員の日／一週間
- ・キャリアステップ
- ・WLB

03 | Question

- ・よくあるQ&A
- ・若手職員へのアンケート調査

近畿経済産業局のミッション・バリュー

- Mission (Doing) -

関西から、日本の未来を創るその一歩を一緒に踏み出すために、
誠実に寄り添い、懸命に考え、共に汗をかく

- Value (Attitude) -

- 心 (姿勢) -

傾聴を起点に、本質を追い求めます

- 技 (思考) -

未来志向で、学び続けます

- 体 (行動) -

行動し、つなげます

近畿経済産業局とは・・・

近畿地区2府5県（福井県、滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県）を管轄している経済産業省の地方支分部局です。

当局は、各関係機関と密に連携を取りながら、近畿経済の発展を目的として、成長分野の推進や関西の魅力発信・地域経済の活性化等の産業振興から、消費者保護・取引の適正化・エネルギー対策まで幅広く取り組んでいます。

産業保安監督部のミッション

～国民の安全の確保と環境保全のために～

規制と産業振興の両面から技術の進歩や社会の変化に対応し、
公平・中立かつ現場感を持った信頼される組織として
将来にわたって国民の安全を創り出す。

～4つの行動規範～

－強い使命－

－科学的・合理的な判断－

－業務執行の透明性－

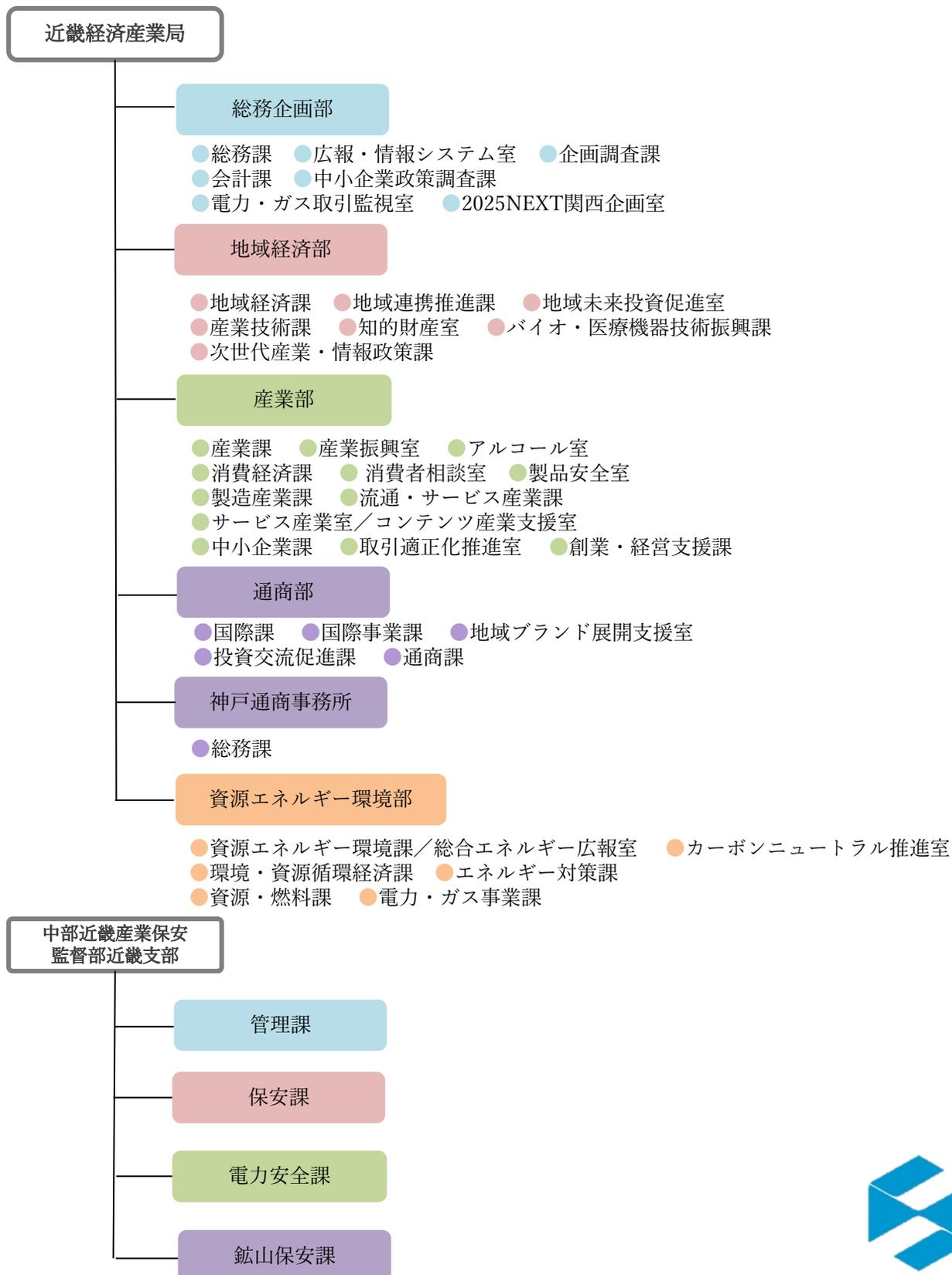
－中立性・公平性－

中部近畿産業保安監督部近畿支部とは・・・

近畿地区2府5県（福井県、滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県）を管轄している経済産業省の地方支分部局です。

産業保安分野（電力、都市ガス、液化石油ガス、高圧ガス、火薬類、鉱山等）の事業者に対する立入検査等を実施し、自主保安を促進するなど、効率的かつ実効性のある産業保安を推進しています。また、鉱害（公害）防止事業への支援を通じて、環境の保全を図ることにより、国民の安全の確保に努めています。

近畿経済産業局・中部近畿産業保安監督部近畿支部 組織図





令和5年度採用
総務課 事務官

組織全体の管理・総合窓口



About Us

総務企画部について

総務企画部は局の中核として他部を全面的に支えることで、非常にやりがいを感じることできる部署です。総務企画部では、バックオフィス業務のみならず、2025年大阪・関西万博やSDGsの達成を見据えた新たな施策・プロジェクトの企画立案、管内の中小企業の経済課題等の実態把握、経済動向の把握を行っています。

総務課の業務

総務課は組織全体の窓口であり、本省との連絡や情報共有、幹部が出席する会議の運営といった局の総合調整・行政文書管理・人事管理・職員研修等の主にバックオフィス業務を行います。総務課は局の総合窓口の役割を担っているため、電話対応、来客者対応などの問い合わせ対応も行っていきます。

総務課の特徴・雰囲気

一番の特徴は、局内外からの問い合わせが多く、様々な部署と関わることからこの部署が何をしているのかといった局への理解が深まります。また、部署間の調整を通じて局内での人脈は広がります。雰囲気は、毎日賑やかで活気があり和気藹々としています。

今、仕事で頑張っていること

私は本省・局内の調整業務、会議の運営、電話・来客対応を主に担当しています。局内の調整、会議の運営等を通じて、局内の円滑な運営に努めています。また、総務課には日々たくさんの電話がかかってきます。電話の内容から担当課を導き出し、素早く担当課にお繋ぎするために、日々、各課室がどのような業務を行っているか勉強をしています。

局内外の調整、問い合わせ対応を通じて、局内調整の経験や局内の取組、局全体の動きを理解することができます。自分の仕事で局内外の人から「ありがとう」と言われた際にはやりがいを感じています。



令和5年度採用
地域経済課 事務官

イノベーションの創出と次世代産業の発展支援

地域経済課の業務

地域経済課は、地域経済部全体の業務運営支援を行うほか、中小企業等の人材の確保・定着を促進するため、中小企業の人手不足の解消を目的とした合同企業説明会の開催、中小企業の副業活用を推進する取組や経営支援機関向けのセミナーの開催などを行っています。

地域経済課の特徴・雰囲気

地域経済部内の調整といったバックオフィスに加え、中小企業の人材確保支援の一環として様々な関係者と意見交換し、事業を作り上げるといった業務まで幅広く経験できます。それほど大きくない課で全員の顔が見える状態で仕事を行うので、困っていたら自然と助け合う雰囲気があり、一人で分からないことを抱え込んで悩むということはありません。

今、仕事で頑張っていること

私は、中小企業の多様な人材とのマッチング支援事業を担当しています。具体的には合同企業説明会や副業人材活用セミナーなどを開催して、企業が経営課題の解決に必要な人材を採用・育成できるよう支援を行っています。合説やセミナーに多くの人が参加している様子を見ると、「人手不足」という中小企業の喫緊の課題に携わる責任を感じる一方で、自身の業務が中小企業の成長につながるという実感も得ることができ、日々刺激とやりがいを感じています。



地域経済部について

地域経済部は、関西の特徴を活かした次世代産業の創出や地域を牽引する企業の支援を行っています。そのため、企業や他機関等、外部の方々との交流が盛んで、外に出る機会も多い部署です。若手職員が多く、分からないことがあっても気軽に相談しやすい雰囲気の中で日々業務を行っています。



令和5年度採用
産業課/産業振興室 事務官

今を輝く産業を未来に！



産業課/産業振興室の業務

当課では、部内の総括業務に加え、商工会議所・工業会関連業務、競輪・オートレースに関する業務、工場立地・工業用水に関する業務等、多岐にわたる業務を行っています。その中で、自治体や関連機関との連携、法令に基づくアドバイスを指導等、幅広い業務経験と知識を身につけることができます。

産業課/産業振興室の特徴・雰囲気

産業課のもとに2つの組織（産業振興室・アルコール室）が位置づけられており、ベテランから若手まで職員の年代が幅広いことが特徴のひとつです。普段から課室内のコミュニケーションを取ることを大事にしており、上司部下に関わらず、相談や意見交換がしやすい雰囲気、和気藹々とした環境で業務ができています。

産業部について

局内で課室数・所属職員数が最も多い部であり、中小企業支援、創業・ベンチャー企業支援、伝統産業や製造業の振興、商業・まちづくり支援、取引適正化の推進など、関西経済の底上げ・活性化に向けた取り組みを行っています。各課室が、事業者や自治体、関係機関へのヒアリングや意見交換を行い、関西経済の動向を直に感じることでできる部署です。また、外勤の機会も多いため、局内にとどまらず、外部からの様々な刺激を受けて成長できる部署であると感じています。

今、仕事で頑張っていること

主に、外部機関との調整業務や工場立地や工業用水に関する法令の問い合わせ対応を行っています。若手のうちから外部の方とのやりとりを多く経験することや、法に触れて専門知識を身につけることは、今後の業務においても活かすことができる経験であると感じています。

ネットワークを活用し、海外との架け橋へ

国際課の業務

国際課では、主に①通商部内及び局内他部との調整、②国内外関係機関とのネットワーク強化による情報共有に取り組んでいます。①では、職員が海外出張に行く際の手続きなど、局内の国際関連業務を円滑に進める上でのサポートを行っています。②では、近畿地域の魅力を海外へ発信するための情報交換会やセミナーを開催しています。今年度は、2025年に開催が迫る大阪・関西万博に向けた機運醸成のため、在関西の領事館との連携に力を入れて取り組んでいます。

国際課の特徴・雰囲気

当課は企業よりも、領事館や支援機関の方々とのやりとりが多いことが特徴です。テレワークや年休も柔軟に活用することができるので、プライベートとの両立がしやすい環境です。2024年1月に通商部ではオフィスの改装があり、デスクやカーペットが新調されました。国際課は、執務室での業務がメインとなるため、きれいな環境で仕事ができることはモチベーションアップにつながっています。

今、仕事で頑張っていること

貿易に取り組む企業や、支援機関に対するセミナーの開催を担当しました。外部機関との調整や、ホームページ作成など事前準備の大変さを感じながらも、1年目から主体的に取り組む機会をいただいたことで成長につながったと感じています。セミナーを終えて、参加した企業から、今後の業務を進める上で役立つという言葉いただいたときには、とてもやりがいを感じました。



通商部について

通商部は、対日投資やインバウンド支援といった「海外からの仕事」や海外展開支援等の「海外への仕事」があります。成長を続ける海外市場に目を向け、「海外から稼ぐ力」を強化する！というミッションの下、JETROやJICAなど他機関とも連携しながら大きな仕事ができる部署です。



令和5年度採用
資源エネルギー環境課 事務官

エネルギーの安定供給とCN社会の実現



資源エネルギー環境課の業務

資源エネルギー環境課では、庶務課としての部内のとりまとめ業務のほか、カーボンニュートラル社会の実現に向けた中小企業への普及啓発活動、子ども向けのエネルギーイベントの運営などを行っています。1年目職員として、部内の体制から日本のエネルギー事情まで、広い視野で様々な知識を身につけることができます。

資源エネルギー環境課の特徴・雰囲気

企業訪問等で外に出る機会が多く、また他課室と連携して行う業務もあり、日々多くの情報にふれ成長できる環境です。先輩や上司は、相談しやすいだけでなく若手の意見も積極的に取り入れてくださります。また休暇やテレワークなどを活用し、自分の予定や抱えている業務の性質などに応じて柔軟に働くこともできます。

資源エネルギー環境部について

エネルギーの安定供給とカーボンニュートラル社会の実現という2つを軸に、事業者への普及啓発や研究開発支援等を行っています。法執行などの業務が占める割合も比較的大きく、経済活動の基盤を支える重要な業務に携わる実感があります。また部内研修も充実しており、若手職員を中心に、様々なエネルギー関連施設を見学し、説明を聞くことができる機会が多くあります。自分の担当分野に加えてその周辺知識なども学ぶことができ、文系・理系問わず活躍することができます。

今、仕事で頑張っていること

これからカーボンニュートラルに取り組もうとしている企業等に向けた情報発信を頑張っています。事業者の方々の立場にたつて必要な情報を整理することは難しいですが、実際に事業者の皆様が届いていると実感できたときは非常に達成感があります。



令和5年度採用
電力安全課 技官

インフラの保安で国民生活を守る

電力安全課の業務

当課では発電所（原子力を除く）、送電線、配電線、変電所、工場、事業場等の電気工作物に係る安全を確保するため、立入検査、保安・事故情報の提供等を行っています。また、電気に関する国家資格等の審査業務、発電所の環境保全対策や再生可能エネルギー施設の安全を確保する業務を行っています。

電力安全課の特徴・雰囲気

当課の特徴は20名余りの大所帯であることです。業務については堅いイメージを持たれるかもしれませんが、先輩や上司は気さくで多様な経歴を持っている方が多いので、新人の方が相談しやすい雰囲気だと思います。また、立入検査や研修の機会が多く、課内だけでなく部署を跨いで多くの職員と交流することができます。

今、仕事で頑張っていること

私の主な業務は、電気に関する国家資格の審査・交付です。第3種電気主任技術者免状の交付に係る審査業務では、申請者の実務経験を面談で確認しておりますが、申請件数が多いので審査基準を満たしているかどうか、正確かつ効率的に審査することが求められます。そのため、研修などを通じて勉強しながらの日々ですが、審査では様々な事業所の設備について技術的な知見を得ることもできるので毎回新鮮な気持ちで取り組むことができます。



産業保安監督部について

産業保安監督部は経済産業省の地方支分部局であり、産業保安分野（都市ガス、液化石油ガス、高圧ガス、火薬類、石油コンビナート、電力（原子力を除く）、鉱山）について、立入検査等の実施を通じて自主保安を促進するなど、効率的かつ実効性のある産業保安を推進するとともに、鉱害（公害）防止事業への支援を通じて環境の保全を図ることにより、国民の安全・安心の確保に努めています。



通商部
国際事業課 地域
ブランド展開支援
室
令和3年入局（事
務系）

2025大阪・関西万博を好機と捉えた、関西の魅力的な地域ブランドの高付加価値化および、地域の自立的好循環（地域ブランドエコシステム）構築に向けた支援を担当しています。



地域経済部
次世代産業・情報
政策課
令和2年入局（事
務系）

関西地域における中堅・中小企業のデジタル化・DX推進、サイバーセキュリティ対策支援を担当しています。

今日は、地域ブランドPR動画撮影のため、滋賀県甲賀市「信楽焼」への外勤日。無事、到着しました！



到着後、撮影事業者・現地企業の方と一緒に「信楽焼」の魅力が最大限伝わるようなシーンについて入念に打ち合わせを行います。

撮影シーンがまとまったので、地元の方御用達のお店で早めの昼食を取ります。訪問を重ねることのできる間にかご当地グルメにも詳しくなりました！

午前中の打ち合わせを踏まえ、実際の撮影開始！目の前でプロの撮影が繰り広げられ、現場に緊張感が走ります。
@丸元製陶



撮影終了後、局に戻りメールチェック・撮影事業者との振り返りを行い、次回以降の撮影に備えます。撮影の合間に従業員さんとお話できるタイミングがあったので、貴重な生声を忘れないようメモに残しておきます。

一段落付いたところで、この日の業務終了。業務後は、出張での疲れもあったので家に帰ってゆっくりしたいと思います。コロナ禍も段々と落ち着いてきたので、週末には同僚と飲み会を行ったりとコミュニケーションも取りやすい職場です！

登庁

自宅でテレワーク開始。まずはメールやTeamsチャットを確認し、対応します。その後、テレワーク前日に計画した1日のタスク・スケジュールをチェックし、優先順位を決めて効率よく業務を行います。

午前

課内で月2～3回実施する定例会議に参加します。各担当の業務進捗状況の報告や、課員の知識を共有し、相互に高め合うため、様々なテーマで勉強会を実施することもあります。



お昼休憩

自宅でお昼ご飯を食べた後は、お昼寝タイムに入ります。ON/OFFの切り替えを大事にしています！

午後

DX推進中の企業とのヒアリング、新企画について課内担当者とのディスカッション、他局担当者と意見交換・・・と、会議をいくつか続けて実施します。対面ではなくオンラインでも十分コミュニケーションが取れるので、テレワーク中も安心して仕事ができます。

夕方

担当として必要な知識を増やすため、外部が主催するオンラインセミナーに参加します。知見が広がると、モチベーションも上がります。

退庁後

計画通りにタスクを完了し、定時で終了します。業務後は筋トレやウォーキングなどの運動を欠かさないようにします！通勤時間がない分、プライベートの時間がたくさん取れるので、家族や友人とご飯に行ったり、買い物したり、料理を作ったり、趣味の時間に費やしたりと、かなり充実した1日が過ごせます。



地域経済部
地域経済課
平成29年入局
(事務系)

中小企業・小規模事業者の皆様が抱える「人材」に関する課題解決のために、合同企業説明会や人材が定着するための研修・セミナー等を開催しています。



地域経済部
バイオ・医療機器
技術振興課
平成30年入局
(事務系)

創薬や再生医療に関連した「ライフサイエンスベンチャー」の成長支援と、次世代産業として注目される「バイオものづくり」の機運醸成を目指したイベントの企画・運営などを担当しています。

複数の事業が並行して進んでいるので、週の初めに班内会議で事業の進捗や一週間のスケジュールについて共有しています。



月曜

まずは、メールチェックとスケジュールの確認です。1週間の仕事の段取りをイメージして仕事に取り掛かります。翌日のヒアリングに向けて、インターネットやパンフレットを読み、ヒアリングの流れや質問項目を整理しています。

午前中に出張準備をして、午後から京都に企業訪問。この日は、副業・兼業人材活用に積極的に取り組んでいる企業から取組みのきっかけや課題、活用した成果などをお聞きすることができました。

火曜

ライフサイエンスベンチャーの社長にヒアリングです。大学の先生と意見交換することもあり、バイオ分野の知識や業界動向を情報収集します。研究現場に足を運ぶこともあり、現場の具体的な課題やニーズを掴めるように心がけています。

委託事業者から提案があったセミナーの企画内容について、班内打ち合わせ。講師やテーマ設定、広報について、より効果的なイベントになるようにアイデアを出し合います。

水曜

自週末のイベントに向け、上司との打ち合わせです。何でも相談しやすく、若手でもどんどんアイデアを出すことができます！



一日在宅勤務。午前中は火曜日のヒアリング結果のとりまとめ、午後からは委託事業者とセミナー開催についてオンライン打ち合わせをしました。



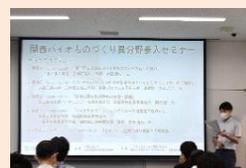
木曜

この日は、バイオ関連の展示会に参加です。首都圏の展示会に参加することもあり、他地域のバイオ関係者と新たに出会い、これをきっかけに地域を超えた連携ができないかを検討することもあります。

午後から他省庁主催の会議に出席。関係機関が実施している人材確保支援事業について意見交換をし、連携の可能性について考える機会となりました。この日は1時間年休を取得して、直帰しました！

金曜

いよいよイベント本番です！ イベント企画やチラシ作成に力を入れたことで満員御礼となり、大学と企業の共同研究に繋がりました。



コロナをきっかけにゴルフをはじめ、休日は友人や職場の先輩とラウンドをして息抜きをしています。最近、飛距離アップのために、ジムにも通いはじめて、本格的な趣味になりつつあります(笑)

休日

組織全体で「月1回の有給休暇の取得」が推奨されていて、土日と繋げることでゆっくりとリフレッシュできます。現在はコロナ禍で自粛中ですが、プチ旅行も気軽に行くこともあり、ワークライフバランスがとりやすい職場です。

幹部職員から知るキャリアプラン



近畿経済産業局では、経済産業省本省（東京）、他省庁の近畿ブロック機関、地方自治体などへの出向があります。様々な組織体験や、人との出会いを通じて、キャリアプランを描いていくことが可能です。



総務企画部 企画調査課 課長
平成5年入局・事務系

- H5年 入局
- H9年 出向（経済産業省）
- H12年 情報政策課 ※係長昇任
- H13年 サービス産業室
- H15年 育児休業
- H17年 調査課
- H20年 企画課
- H23年 消費経済課
- H25年 次世代産業課
- H26年 国際事業課 ※課長補佐昇任
- H29年 国際課
- H31年 中小企業政策調査課
- R2年 流通・サービス産業課 ※課長昇任
- R4年 企画調査課

係長

課長補佐

課長



これまでの経歴を振り返って

本省出向時には、法律改正・国会対応や他省庁との協議など地方局とは異なる業務を経験しました。専門的な知識も要求され、時間軸やクリアプロセスの違いに日々戸惑いながらも、上司や同僚など周囲の方々に恵まれ、密度の濃い出向期間を送ることができました。

本省業務を経験したことで、地方局の執行等業務に対する自身の意識が変わり、視野も広がったように思います。また、お互い立場や環境が変わった今でも当時と変わらず接してくれる大切な同僚・友人と出会えたことは、代えがたい私の貴重な財産です。

係員

キャリアステップ：出向経験について



平成23年入局・事務系
係長

出向先での業務内容

私は福井県の高浜町役場に出向していました。高浜町は美しい海と山に囲まれた町で、夏になると海水浴客で賑わいます。自然が大好きな私にはぴったりの環境でした。役場では総合政策課という部署で、町の総合計画や戦略づくりをはじめ、地域振興政策にも携わりました。当局の業務領域を超え、自治体の多種多様な仕事に携われたことが大きな糧となりました。

中でも最も心に残ったのは、山間地域の移動対策として実施した、「地域主導によるバス事業」です。地域の方々と一緒に考え、官民協働で実現に至った経験が、今も大切な宝物です。



出向先での業務を通じて感じたこと 近畿経済産業局を外から見て

人口減少が地域に与える影響は複雑化しており、行政単独では対応が困難な状況になっています。有効な解決策として、民間企業と協業し、新たな技術やノウハウを積極的に取り入れることが考えられます。しかし、当時は単一の自治体で行う情報収集や、企業とのマッチングには高いハードルを感じていました。そんな時、当局が持つ情報の厚みや繋ぎの機能を頼りにしていました。こういった“現場力”は当局の財産であることを外から見て改めて気づくことができました。

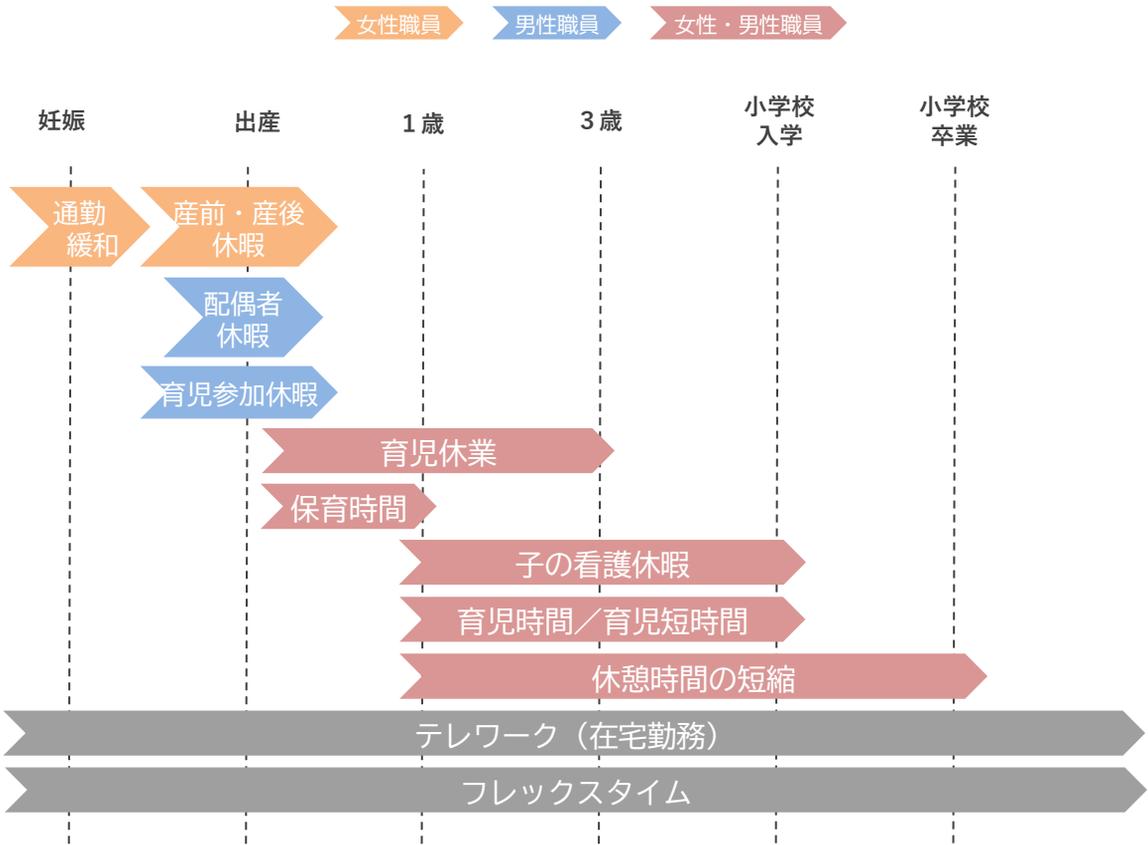
課題の本質を見極める広い視野

左記のバス事業では、移動という課題解決から住民の活力が生まれ、やがて地域の活性化に繋がることを目の当たりにしました。社会の好循環は経済の論理だけでは語れないということを身をもって体感し、これまでの視野の狭さを反省しました。現在、製造業の振興に取り組んでおり、業界団体や企業の方と関わる機会が多くありますが、経済的な視点を超えて、関係者の想いや社会全体の繋がりを意識し、広い視野で課題の本質を見極めることを大切にしています。

出向は、業務の経験値だけでなく、人の繋がりや人生観にも大きな影響を与えてくれます。

当局では、希望に応じて、出向のチャンスが豊富に用意されていることも魅力の一つだと思います。

仕事と育児の両立支援制度



フレックスタイム

総勤務時間は変えずに、日によって始業・終業時刻や1日の勤務時間を変更することができる制度です。さらに、育児や介護をしている職員はより柔軟に勤務時間を選択することができます。

テレワーク（在宅勤務）

職員1人1人がその実力を十分に発揮できる多様な働き方を実現しつつ、災害や感染症等の非常時の業務継続を可能とするため、テレワークの活用を推進しています。

育児休業

子どもの養育のため、子の3歳に達する日まで休業することができる制度です。2回に分割する等、柔軟な取得が可能です。また、男性の育児休業取得も推進しています。

子の看護休暇

小学校就学前の子がいる職員について、病気等にかかった子を看護するために1年間に5日（対象者が2人以上の場合は10日）勤務しないことができる制度です。

通勤緩和（女性のみ）

妊娠中の職員について、通勤に利用する交通機関の混雑が母体または胎児の健康保持に影響があるときは、1日1時間を超えない範囲で勤務しないことができます。

育児参加休暇（男性のみ）

妻が出産する場合で、その子または小学校就学の始期に達するまでの子（生まれた子の兄弟など）を養育する職員が、子の世話をするために5日まで勤務しないことができる制度です。

両立支援制度を利用した職員の声

voice 1



私には小学生と保育園児の二人の娘がいます。産休・育休の復帰後は、二回とも出張が多いポストでしたが、保育園のお迎えの時間には帰れるよう育児時間を取得させていただきながら、責任ある仕事も任せていただきました。

現在は週一、二回程度テレワークも活用し、業務の優先順位をつけ、効率良く働けるよう毎日工夫しています。

当局には、様々な支援制度に加え、自然に助け合える風土があります。一方育児中とはいえ、組織や自分のため、自身の成長は不可欠です。

「今が一番大変だけど、今が一番楽しい時期」この言葉を胸に、これからも周りへの感謝の気持ちを忘れず、子どもの成長の「育児」のみならず、自身の「育自」にも努力し、楽しんでいきたいです。

(係長 平成19年入局・事務系)

voice 2

私は普段、広報業務に従事しながら、4歳児と2歳児の子育てをしています。

二人とも、男性職員の育児参加休暇と育児休業の制度を1ヶ月程度利用しました。特に下の子が生まれた際に、これまで夜のわずかな時間しか一緒に過ごせていなかった上の子と、密に時間を共有できたのが非常にありがたかったです。日々できることが増えていく我が子の成長を肌で感じる事ができた経験は、一生の宝物です。

他にも年次休暇や在宅勤務も利用しやすいので、集中的に業務をこなして、混雑しない時期・時間に子供と色んなところにおでかけできるのは嬉しいです。

今しかできないことに全力に。子供も自分も成長できる環境に感謝です。

(係長 平成27年入局・事務系)



若手職員に聞いてみたQ&A

Q1 プライベートの時間は確保できる？

A 土日だけでなく平日も友人や家族との時間を思う存分楽しめます。時間休という制度もあり、1時間だけ休みを取ってゆっくり出勤することや早く帰るなど、働き方は柔軟です。他にもテレワークができ、自分の業務に没頭できます。定時にタスクを完了させれば、十分にプライベートを満喫できます。



電力・ガス事業課
令和5年度採用 技官

Q2 同期と先輩の仲の良さは？

A 同期は男女の垣根なくみんな仲良しです。お昼は、一緒にランチを食べたり、休日にはドライブすることもあります。先輩はすごく優しく、何か困っていると思ったらすぐに声をかけてくれます。また、ランチや飲み会にも誘ってくださり、とても仲良くしてもらっています。

Q3 入局までにしていたことは？

A 遊び・サークル活動・アルバイトに明け暮れていました。8日間のイタリア周遊をしたことが一番の思い出です。入局後も夏季休暇中に海外旅行に行くことができましたが、長期間の旅行に行くことをおすすめします！（PC操作の基礎知識については入局前に勉強しておけばよかったと思っています…。）

Q4 上司との関係・職場の雰囲気は？

A 職場は穏やかな雰囲気です。上司と食事に行くこともあり仲を深めやすい環境であるため、毎日楽しく仕事をしています。また、課内の上司は「やってみたら？」と挑戦を促してくださることが多く、入局1年目で複数回の出張に参加しました。若手を積極的に育ててくださる職場だと感じています。

消費経済課

令和5年度採用 事務官

Q5 面接の雰囲気は？

A 最後まで話を聞いて、リアクションをしてくださったので話やすかったです。また、面接で落ち着いて話せるよう、待機中に職員の方が話しかけに来て下さったことが印象に残っています。話やすい環境づくりをしてくださるので、落ち着いて自分の伝えたいことを自分の言葉で伝えることが大事だと思います！

Q6 仕事で大変だったことは？

A 仕事に関する知識が乏しい中で、次々と新しい話が展開されていくので、入局した当初は、周囲の動きを理解し、追いついていくことが大変でした。ただ、上司の方が優しくフォローして下さったり、同期とも励まし合ったりと大変さを乗り越えることが出来る環境が整っていると感じています！



中小企業課

令和5年度採用 事務官



Q7 志望動機は？

A 関西の経済を支えている中堅・中小企業の支援や、産業振興、エネルギーといった、現在の日本を支えている幅広い分野の業務に携わることができるところに魅力を感じました。万博の開催も控えており、局の職員として、関西の企業がもつ特色や魅力を、地域や国の垣根を越えて発信していくことや、将来の経済を担う次世代産業の振興に携わることが一番の魅力だと思います。

Q8 月の残業時間は？

A 所属する部署によってバラバラですが、私は平均して月10時間～20時間程度です。業務の関係上さらに残業時間が増えることはありますが、毎日残業するのではなく、残業する日はしっかり働き、定時に帰る日はプライベートの時間や休息をとる、というように自分のペースで働くことができます。

エネルギー対策課

令和5年度採用 事務官

Q9 仕事でやりがいを感じた時は？

A 「自分の業務が、間接的に企業の役に立っている」と実感したときにやりがいを感じます。普段私は中小企業の研究開発の補助金業務に携わっているのですが、実際に自分が担当している企業から研究が進んでいる様子や感謝の声などをお聞きすると、間接的に研究開発に携われていることを実感できてとても嬉しいです。

Q10 仕事に必要な知識はどのように身につけているか？

A 上司や先輩方に助言や指摘をいただくことで、徐々に仕事に関する知識を身につけています。上司や先輩方は私よりも仕事に関して数多くの経験をされていて、その知見に基づいて助言してくださっています。助言や指摘を受けて終わりではなく、いただいた助言や指摘を次に活かせるよう意識して仕事をするよう心がけています。



産業技術課

令和5年度採用 事務官

Q11 仕事におけるモチベーションは？

A 淡々と仕事をこなすのではなく、「何日までにこの仕事を終わらせる」など、自分で小さな目標を立てて仕事をするようにしています。そうすることで日々小さな達成感を得ることができるので、モチベーションを保ちながら仕事を進めることができます。

Q12 局を志望する人へのメッセージ

A 局の仕事は多岐にわたっており、その分多様な価値観や考え方を持つ人が必要です。そのため、自分は局に向いてなさそうだ、と決めつけてしまうのはもったいないと思います。少しでも局の仕事に興味を持っていただいているのであれば、ぜひ諦めずに挑戦してください！



創業・経営支援課課

令和5年度採用 事務官

Q13 志望動機は？

A 研究生活やアルバイトのなかで、「相手の知識量に関わらず理解してもらえるよう、伝えること」の重要性を実感することがあり、この価値観を大切にできる仕事はないかと探していたところ今の職種に興味を持ちました。実際に立入検査や安全月間での講演など、事業者の方々に直接「伝える」機会は多く、勉強ばかりの日々です。

Q14 プライベートの時間を確保できる？

A オンライン研修や事務など集中したい業務のときはテレワークを活用しています。テレワークは出退勤の時間が省略できるので、家事の消化にもうってつけです。また残業が少なく、予定に合わせて休暇も取得しやすいので、趣味や友人・家族との時間もしっかりと確保できています。去年は20回近くライブに行くことができました。

中部近畿産業保安監督部近畿支部
電力安全課

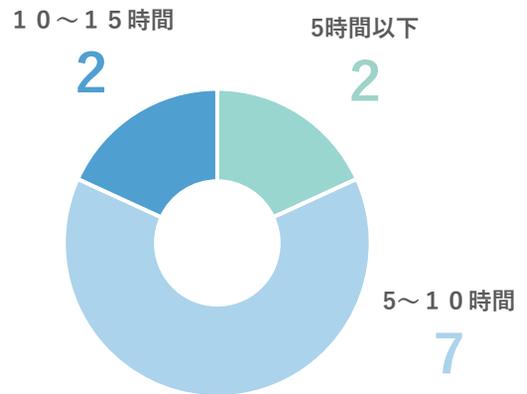
令和5年度採用 技官

若手職員へのアンケート調査

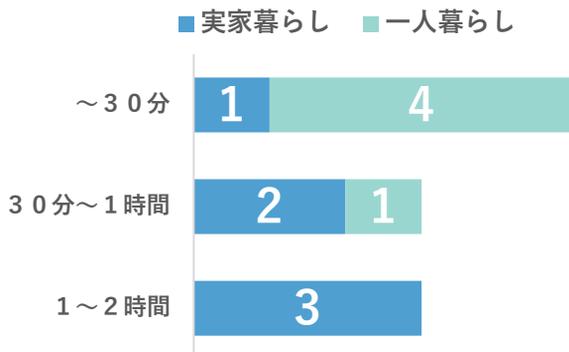
Q1 入局の決め手は？



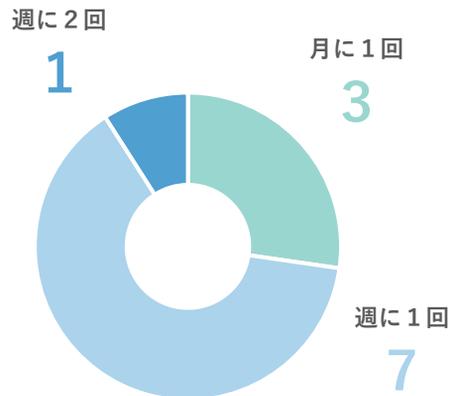
Q2 月の残業時間はどれくらい？



Q3 通勤時間は？ 実家or一人暮らし？



Q4 テレワークの頻度は？



研修制度

採用時に経済産業省や行政業務の基礎事項を学ぶ新人研修があります。その後は担当業務に必要な専門知識を習得するための政策分野別研修や、個人のスキルアップを目指す研修（語学・財務分析）、昇任後に実施される階層別研修などが用意されています。また、局オリジナルの研修や勉強会もあります。

オンライン開催のものも多いため、テレワーク勤務で参加することも可能です。



出向、転勤、異動について

異動については係員の時は1～2年程度で部署異動があるため、若手の内に様々な業務に携わることができます。そのため、自分のキャリアステップのイメージを若手の内に考えることができます。

勤務地は近畿経済産業局と神戸通商事務所の2箇所です。大半は近畿経済産業局での勤務となります。また、神戸通商事務所も三ノ宮に位置していますので、大きな転勤はほとんどありません。

出向については経済産業省本省や近畿圏内の他省庁、地方自治体への出向があります。異動・出向の意向については、年に一度人事に希望を伝える機会が設けられています。

経済産業省 近畿経済産業局

〒540-8535 大阪市中央区大手前1-5-44
連絡先／総務企画部総務課人事係

TEL.06-6966-6001



近畿経済産業局HPはこちらから
<https://www.kansai.meti.go.jp/>



近畿経済産業局X (旧Twitter) は
こちらから
https://twitter.com/meti_Kansai

